光学弾性樹脂 (SVR)

平面・曲面ディスプレイ内部での光の反射を抑制する光学樹脂

型番　SVR6000　HSVR700

特長

- トッププレートとディスプレイモジュールの間のエアギャップに充填し光学貼合するための光学透明な液状樹脂（OCR/LOCA）
- 樹脂設計で屈折率をコントロールすることで、材料境界での光の反射を抑制し視認性を向上
- ディスプレイパネルの堅牢性を高め、薄型化を実現。液状のため幅広いディスプレイ構造に対応可能。

用途

センターインフォメーションディスプレイ、インストルメントクラスター、ディスプレイ搭載型ルームミラーなど

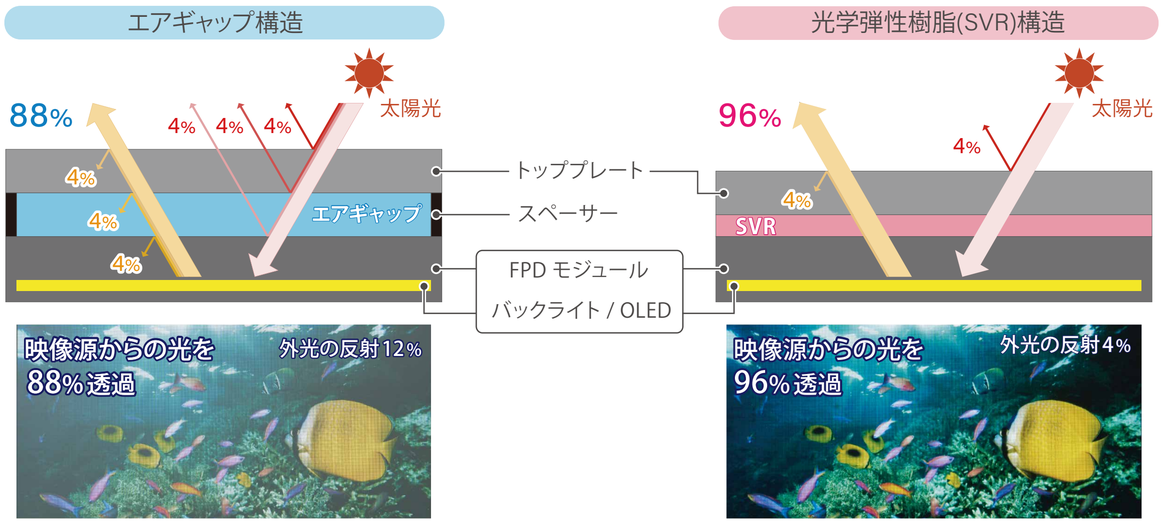
センターインフォメーションディスプレイ

FPDモジュール

光学弾性樹脂 (SVR) あるいは
光学弾性樹脂 (SVR) ハイブリッドタイプ

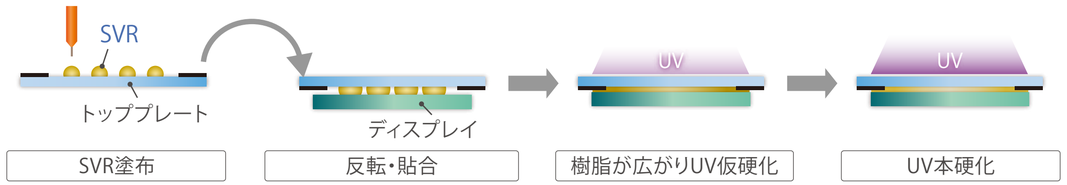
トッププレート

エアギャップ構造と光学弾性樹脂(SVR)構造の違い



貼合プロセス比較

光学弾性樹脂（SVR）



光学弾性樹脂（SVR）ハイブリッドタイプ

スリットコーティングを採用することで、薄膜から厚膜まで対応可能です。

このプロセスに適した光学弾性樹脂(SVR)ハイブリッドタイプは、即時UV硬化によりパネル端部からの樹脂のはみ出しが起きず、光学粘着フィルムと同様の作業性を実現しました。

©2022 Dexerials Corporation

仕様

型番	単位	SVR® SVR6000	HYBRID SVR® HSVR700
硬化条件	mJ/cm^2	≧2,000 *5	≧12,000 *6 硬化1回
粘度 *1	mPa・s	3,300	5,000
硬度 *2		E12	E14
屈折率 (硬化後) *3		1.46	1.48
弾性率 *4	MPa	0.7	1.0
保管温度	℃	10 – 30	10 – 30

*1：Rheo-meter @25℃
*2：Durometer（Code E）
*3：Abbe @25℃，D線（589nm）
*4：DMS method @1Hz (25℃)
*5：メタルハライドランプ
*6：LED 365nm

©2022 Dexerials Corporation

開発品

光学弾性樹脂 "Jettable SVR"

インクジェット塗布に対応した液状接着剤（OCR/LOCA）

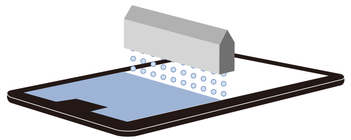
特長

- インクジェット技術を応用し、意図した位置に適切な量の樹脂を高い精度で塗布することが可能
- 塗布厚は貼合形状にあわせて部分的に変更でき、厚塗りにも対応
- ノッチ形状や内側カメラのための穴が開いたディスプレイへの対応、円形、文字の形での塗布も可能
- 塗布形状の切り替えはソフトウェア上で行うため、ハードウェアのメンテナンスを最小限に抑えられる

塗布形状の比較

インクジェット塗布

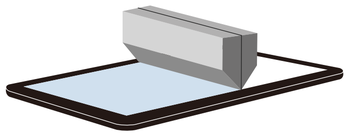
Jettable SVR



塗布形状をソフトウエア上でコントロールできるため、四角形だけでなく様々な形に塗布可能

スリット塗布

Hybrid SVR



スリット塗布のため、塗布形状が四角形に限定される

ディスペンス塗布

SVR

ディスプレイから樹脂がはみ出さないようにするため、塗布形状パターンの構築や周辺にダム樹脂を塗布するなど制御が必要

jSVRを用いた塗布の例

任意の形状に塗布、貼合が可能

仕様

製品名		jSVR ※1
塗布装置		インクジェット
粘度 [mPa・s] ※2		10 - 30
硬度 ※3		E15 - E40
屈折率 ※4	硬化物	1.45 - 1.49
弾性率 [Pa] ※5	25°C	10^4 - 10^6
保管温度 [℃]		10 - 30

※1 仕様数値は特定の型番のものではなく、対応可能範囲を示したものです。詳細な仕様については当社営業窓口にお問い合わせください。
※2 Rheo-meter @25°C
※3 Durometer (Code E)
※4 Abbe @25℃ D線（589nm）
※5 DMS method:@1Hz

デクセリアルズ 株式会社　TEL: 03-3538-1230　https://www.dexerials.jp/

本資料に記載のデータ（内容）は、当社の実施した評価結果に基づくものですが、保証値ではありません。ご使用の際は、お客さまの用途や用法に合わせて十分ご検討の上、ご使用いただきますようお願いします。
記載内容：2022年2月 現在

©2022 Dexerials Corporation